

DNP | 重防食リニューアル工法

1. 製品名

セレクトコートN300（さびチェンジ）
セレクトコートE350（パワフルガード）

2. 主な特長

金属面を修繕する場合、サビを落として塗料で保護するのが一般的です。その際、電動器具などを用いて“しっかり”サビ処理しないと、高価な塗料を上塗りしても内部でサビが進行、直ぐに塗膜剥離（剥がれる）に繋がります。これは、一般的に売られている防錆塗料を塗装しても同じです。

高付着力で水と空気を遮断するタイプの防錆塗料がありますが、“しっかり”サビ処理をしないで塗装した場合、サビに残された水と空気によりサビの進行は止まりません。また、鉄よりも先にサビてくれる（これにより鉄部をサビから保護）亜鉛を含んだ犠牲防食タイプもありますが、こちらは亜鉛が鉄面に触れないと効果がありませんので、やはり“**しっかり**”とサビ処理をする必要があります。

但し、この“**しっかり**”サビ処理をするためには大きな手間とコストが掛かり、且つ、削ることで金属そのものの寿命を縮めてしまいます。セレクトコートN300（さびチェンジ）は、錆を転換することができる塗料です。

放っておくと、どんどん進行する赤錆（不安定な状態）を、そのまま塗装するだけで、この赤錆自体を強い結合力で固い被膜で守られた黒錆（安定した状態）に転換することができます。これにより、安心して上塗り塗装を行うことができます。

また、新開発のセレクトコートE350を組み合わせることで、塩水噴霧試験1,000時間をクリア（一般的な防錆塗料の2～3倍）。沿岸部にある建物、橋梁、プラントはもちろん、船舶に対し、セレクトコートN300（xさびチェンジ）による内部の保護だけでなく、大きな塩害腐食防止効果を発揮します。



サビた部分に直接塗れる!!

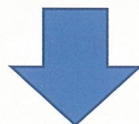
**赤錆を黒色被膜に転換!!
サビの進行を強力に防ぐ!!**

（※）錆処理をしっかりと行わないと、塗膜剥離の原因となります。

◆ 塗装仕様比較

従来のサビ止め工法

（下地調整）1種ケレンまたは2種ケレン→サビ止め塗料→下塗り塗料→中塗り塗料→上塗り塗料



サビ取り不要重防食リニューアル工法

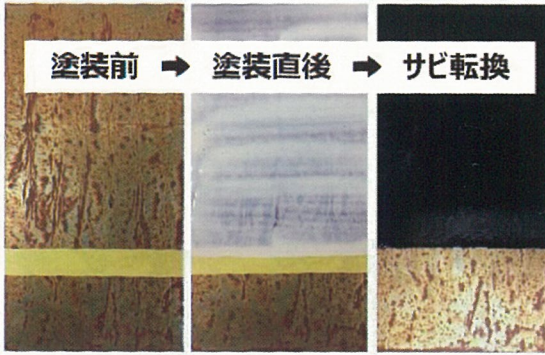
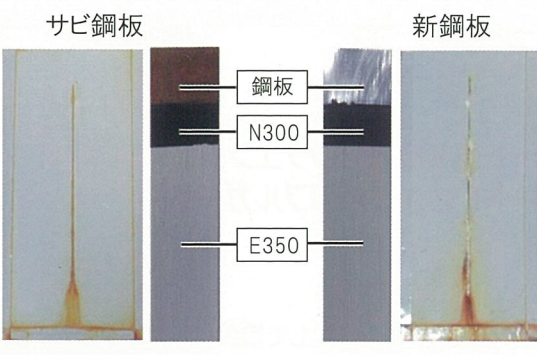
（下地調整）3種ケレン程度→セレクトコートN300→セレクトコートE350→上塗りを任意に選択

> 従来のサビ止め工法に比べ、作業工程の短縮が可能 <

◆ サビ落としの基準とコスト

種 類	工 法	参考費用
第1種ケレン	ブラスト処理により、サビ・塗膜を完全に除去する	5,000～6,000円/㎡
第2種ケレン	ディスクサンダーなどの動力工具を使用し、サビ・旧塗膜を除去して鉄肌を露出させる	1,500～2,000円/㎡
第3種ケレン	手工具を主に使用し、サビ・劣化塗膜を除去する	600～1,000円/㎡

◆ セレクトコート（サビ取り不要重防食リニューアル工法）の特長

鍍転換の流れ	塩水噴霧試験（1000 時間）フレ・フレなし
 塗装前 → 塗装直後 → サビ転換	 サビ鋼板 新鋼板 鋼板 N300 E350
鉄部に塗装することで反応し、黒錆転換する	サビ鋼板・新鋼板ともに優れた防錆性能を発揮 塩害腐食防止に対し極めて有効

3. 実績

海上自衛隊 佐世保基地体育館/トタン屋根、壁面 ※上塗り：弊社水性遮熱塗料



平成23年3月撮影（塗装直後）



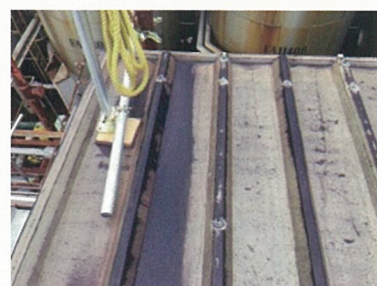
平成29年2月撮影
（フレ・ハガレなく維持。6年経過後も塗り替えの予定はなし）

某化学品製造会社 茂原工場/折版屋根 ※上塗り：弊社水性遮熱塗料

平成29年3月撮影（サビ部分のみ使用※500㎡）



（さびチェンジ塗装直後）



（鍍転換後）

大日本商事株式会社

事業化推進本部 第2部 和田・粕谷

03-3288-5953 URL:http://www.dnp.co.jp/dnp_trading/

いかなる形式でも本紙の一部または全部の複製および無断転載をお断り致します。内容は2017年10月1日現在のものです。お断りなしに変更することがあります。